

# もりや仙一郎県政報告

Vol.121

令和6年山形県  
庄内・最上豪雨災害

## 山形県の農業を救え

### 国へ被災地支援メニュー拡充求め

東北農政局の「現地視察」実る

農林水産省から私に

山形県内で大規模な被害が出た令和6年7月25日の記録的な大雨から約9カ月が経ちました。これまで幾度となく現地を視察し、生活再建に向けた継続的な支援を求めましたが、ここに至り改めて農業分野で早急な支援を必要としております。

4月に庄内と最上地区の被災地を改めて視察しました。土砂が被災り、ごみや流木が散乱する田畑が残り、いまだ稲作の作付けができない状況です。

この支援のためには一定のハードルがあります。現在の制度上、支援メニューがないので、私は改めてこの件を自民党全国幹事長会で全国に伝え、支援を受けるための制度設計の必要性を投げかけました。その後、農林水産省に出向き「ぜひ山形に来て、被災現場を見てほしい」と強く申し入れ、支援メニューの拡充を訴えました。



矢口酒田市長から要望書を受ける＝酒田市の被災現場



国の公費解体の対象となった被災家屋

被災した農地の面積は庄内、最上地域合わせておよそ1300ヘクタールに上ります。天童市の稲作面積は、およそ1000ヘクタールです。その被害規模が分かると思いますが、天童市の水田すべてが被害にあったと見られます。

### 「米価が高い」今こそ

日本が米不足の状態です。米価が上がると、農家が米を栽培したい農家は当然増えておられます。これまで、米価は安いものになっていました。今年になってから消費が購入する米の価格が高騰し、農家が高価格で売ることができるのは、今年に秋に収穫された米からになります。そのため、農家は収入を増やすため、今年に作付けしたい年なのです。災害のために作付けできない、その支援策がない、ということでは、今年に東北農政局の現地調査がなかったら、視察後は酒田市、庄内みどりの農業協同組合から要望書を手交しています。それだけ地域の再興に向けての思いは強いのです。

### 庄内・最上地区 300<sup>ヘクタール</sup>で今年も作付けできず 酒田市、庄内みどり農業協同組合が要望書を手交



流れ着いた土砂や流木が残る田畑



「国の支援制度を変えたい」  
いつ天童でも起こるか分からない！  
今回の災害を受けています。私としてはいつ天童最上地区を視察しました。市または地区に同様の災害が起こるか分からない、その時のために「うごきます」と、恐ろしい言葉は望んでいません。

**山形県議会議員 もりや仙一郎**

ご意見を募集しております。FAX・メール・ブログで  
こうして欲しい！ ココが問題！ 改善して欲しい…など  
頂けると幸いです。

**023-651-5539** FAX023-651-5549

〒994-0013 天童市老野森 3丁目 4-17

**もりや仙一郎** 検索

過去の県政報告はHPで  
ご覧いただけます。 <https://www.10016.jp/>

facebook 友達登録をお願い致します。 公式ホームページ